



アングリカン保健・コミュニティネットワーク： ACC18 への報告

「アングリカン・キリスト教徒の人々をつなぎ、準備し、養成することで、医療を提供し、病人に寄り添い、科学への信頼と神への希望の両方に基づいて公平な医療を提唱する」

アングリカン・コミュニオンを通じ、保健関連の技術的な専門知識と経験が豊富にある。管区、主教区、組織およびネットワークは、医療施設を管理するのみならず、保健プロジェクトやマザーズ・ユニオンなどのネットワーク、地元の会衆、ボランティアを通じて、地域社会の医療を引き受けている。教会には国が提供する医療へのアクセスを促進する役割もある。この豊富な知識と経験は、共有すべきコミュニオンの財産であり、相互の繁栄を可能にするものである。そして、健康危機に効果的であるためには、技術的な専門知識と経験は十分に結びつき、簡単にアクセスでき、迅速に利用できる必要がある。

香港で開催されたアングリカン諮問評議会は、決議 A17:07「アングリカン保健ネットワークに向けて」を採択した。この決議は、アングリカン保健ネットワークの開発に関するスコーピング報告と協議を行い、ACC 常任委員会に報告するよう求めている。この作業は、アングリカン連合の支援を受けて 2020 年に実施された。スコーピング調査に加えて、アングリカン・コミュニオンの組織やネットワークを通じて健康、開発および救済に関わるアングリカン・キリスト教徒は、2020 年 9 月にネットワークに関心のあるアーリーアダプターを対象としたバーチャル・グローバル・コンサルテーションを開催した。この作業は、新しいネットワークの作業と構造についての共通理解につながり、2021 年 2 月に ACC 常任委員会で承認された。

2021年4月の第7回世界保健デーで、2月のアングリカン諮問評議会の常任委員会による正式な設立承認を受け、アングリカン保健・コミュニティネットワーク(AHCN)が発足した。世界の多くの地域では、病気予防教育の普及や地域診療所の設立など、リーチの困難な地域社会で「ラスト・ワンマイル」に届くために教会が最も適していると長年認識されてきた。新型コロナウイルスの世界的大流行は、特定の健康危機において保健の専門知識を活用することが可能であることを示した。このことからAHCNは、保健の専門知識と経験を他の状況でもより簡単にアクセスして利用し、それを伝達し、調整することを可能にする。新しいAHCNはそのタイトルに「およびコミュニティ」を含む。これは、アングリカンの保健分野における使命が地域社会や病院、診療所で実施されていること、そして複雑な社会・コミュニティ・保健制度がさまざまな方法で健康を支えているという事実を認識していることから来ている。

このネットワークには現在、コミュニオン全体から3人の共同招集者と2人の共同コーディネーターがおり、全員が保健の専門家である。共同招集者は大主教に諮問した後に指名され、カンタベリー大主教とアングリカン・コミュニオンの総主事の承認を得ている。**マイケル・ビースレー師**は、イングランド国教会のバース・アンド・ウェルズの主教であり、以前はインペリアル・カレッジ・ロンドンの疫学者であった。**ルーク・パト師**は、元ナミビアの主教で、イスデル・フラワーズ・クロス・ボーダー・マラリア・イニシアチブの主導メンバーであり提唱者でもある。**ジャニス・ツァン博士**は、香港大学の腫瘍内科の専門家であり、名誉臨床助教である。共同コーディネーターは**サリー・スミス博士**で、WHO EPI WINチームのコンサルタント/シニアアドバイザーであり、以前はUNAIDSで14年間勤務していたが、最近では宗教組織(FBO)に焦点を当てた、HIVに関するコミュニティ参加のシニアアドバイザーとして働いていた。また**ベン・ウォーカー博士**は、リーズ主教区の戦略プログラムマネージャーであり、ヨークのWHO共同センターの元メンバーであり、「グローバルヘルスと開発における宗教」(2022年)の著者でもある。

AHCNは、**宣教の5つの指標**に関連する6つの主要な機能を持っており、特に誠実なサービスで人間のニーズに対応し、不正な構造を変革しようとするアドボカシー活動を行っている。6つの機能は次のように分類される。

- 1) つながりと調整：最高の科学的エビデンスを用いて、医療専門家と教会指導者との協力による知識を利用し、世界・地域・国レベル、そして地域を超えて主要な健康問題についてアングリカンの声を調整して提供する。
- 2) アドボケイト：アングリカンのアジェンダで健康を維持する上で、世界的に重要な役割を果たす。これには、幅広い医療専門家や教会指導者からの技術的な専門知識の提供が含まれ、これによりアングリカンのアドボカシー、健康の公平性の呼びかけに対し情報を提供し、WHO、より広範な国連、アフリカ連合その他の地域団体や各国政府との間における私たちの代表への情報提供を強化する。これを、平和のための宗教や世界教会協議会など他の異教徒間・エキュメニカルパートナーと協力して行う。
- 3) 地域社会の間に健康メッセージで信頼と希望を築き、信頼できるパートナーとしてコミュニオンの非宗教健康パートナーの間に信頼を築くのを支援する。これを最高の科学的エビデンスに沿って行い、国の保健省の対応と協調する。
- 4) 養成：コミュニオン全体から実践者、教会指導者、学者を集めて、実践とアドボカシーについて情報を提供する。ネットワークに学者と活動的な実践者の両方を含めることは、コミュニオンの仕事と声に大きな正当性をもたらす、健康に関するコミュニオン全体の学習とスキルのメカニズムをもたらす。
- 5) 支援、寄り添い、奨励：孤立したアングリカンの健康パートナーに技術支援を提供し、コミュニオンを通じて同僚とつながりを持ち、実用的な情報と効果的な例を開発して共有する。
- 6) 準備：アングリカン・コミュニオン、組織、およびネットワークを通じて学んだ教訓と優れた実践例を文書化し、次の健康緊急事態の計画のために情報を提供する。

2021年と2022年に、AHCNはマラリア、新型コロナウイルス、メンタルヘルスに関する実践コミュニティ（COPS）を立ち上げて育成し、その会員向けに定期ニュースレターを作成し、新しいWHO宗教ネットワークの戦略と研究に積極的に取り組み、そして国際的な協議を通じて自身のビジョンと戦略を構築し、**次の3年**のコースを設定した。この基盤のもと、資金提供機関との合意を経て、私たちは地域コーディネーターの募集と運営グループの構築に向けた準備を進めている。協議から出てきた中心的なメッセージは、AHCNの目標は、地域の教会が健康問題、特にその特定の状況の中で最も差し迫っている問題に取り組めるよう、教会のつながり、養成、そして強化のための支援をすべきである、ということであった。AHCNは今後も、信仰と健康の結びつきについて正確な情報とアドボカシーをより広く教会に提供し、教会が地域の文脈において起こっている現在の問題に対応する役割を果

たし、次のパンデミックに向けてより効果的に準備するための措置を講じることができるようにしていく。

最近注目されていることは、2022年8月に開催された Lambeth Conference での2つのセミナーと、その結果として人の目を引くようになり、数が増加したことである。私たちは非常に積極的な参加を得ており、70名の主教/配偶者らがネットワークに参加登録した。私たちの最初のセミナーでは、特に新型コロナウイルスワクチン、矛盾する情報、信頼できる情報源としての宗教指導者の役割、健康増進に対するコミュニティ全体の信頼関係の文脈において、信頼を構築し、フェイクニュースに対抗することを検討した。2回目のセミナー「もうひとつのパンデミック」は、世界のメンタルヘルス危機に関するもので、40名を超える参加者があり、特に高い関心が寄せられた。私たちは、精神的な幸福の支援、悲痛をもった援助、ケアラーのケアについて議論した。オーストラリア、南アフリカ、エルサルバドル、英国そして米国からの参加者は、レジリエンスとトラウマケアに関するさまざまな魅力的な洞察を提供している。最後に、聖書研究、神学的アプローチ、実践的な例を含む健康の公平性に関する私たちの9月のニュースレターは、会議で好評を博し、多くの人々に取り上げられた。

重要な問い：アングリカン・キリスト教徒は、どのような健康分野でアドボカシーを高め、既存の仕事をさらに発展させるべきだとあなたは思うか。また、どうすればこれが実現すると思うか。